



# こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

成田空港

## 地域振興策の策定急げ

### 機能強化案合意に不可欠

空港を核とした成田市の発展に力を注いでいる小池正昭県議(2期)は、6月定例県議会の一般質問で冒頭、成田国際空港の機能強化を取り上げ、合意を目指す上では地域振興策を早期に策定すべきとして現在の検討状況などを質問しました。また、成田市と市川市を結ぶ北千葉道路の工事進捗状況を尋ね、1日も早い全線開通を要望しました。小池県議の質問と、県当局の答弁を特集します。



6月県議会本会議で一般質問を行う小池正昭県議

#### 6月定例県議会一般質問

小池議員 昨年9月の四者協議会の場で、成田空港の更なる機能強化の具体的な提案がなされたが、その合意を目指す上では、空港周辺の各自自治体が将来像を描ける地域振興策の策定作業を主導的かつ早期に行い、着実に実行できる体制を整えるべきと考える。

定に向け、現在における検討状況と今後のスケジュールをどう考えているのか。知事 先日の四者協議会では、県、空港会社及び国が連携協力し、地域振興策の方向性や内容を掲げた「基本プラン」を策定していくことが確認されたところです。

う場の設置に向け準備を進めているところであり、市町ごとに協議を開始し、まちづくりに関する意見や要望を把握してまいります。県としては、今後、これらをもとに、県各部署で構成する庁内ワーキンググループとも協議・調整を重ね、「基本プラン」の策定に取り組んでまいります。小池議員 地域振興策の

財源の確保について、県としてどう考えているのか。総合企画部長 今後策定する地域振興の「基本プラン」は、県のみならず、空港会社及び国も連携協力して、検討作業を進めていくこととしております。

このため、国は、空港周辺の地域づくりを支援するために、周辺対策交付金の充実など、安定的かつ十分な財源措置を行うよう努め、また、空港会社は、これに積極的に協力することが、先の四者協議会において確認されているところでございまして、県では、市町とともに、国及び空港会社に対

#### 空港支える人材の確保を!

小池議員 県として広域的なまちづくりの視点に立ち、空港を支える人材の確保という課題に対処すべきと考えるがどうか。知事 成田空港の更なる機能強化の検討が進む中、国際空港としての機能を十分に発揮していくためには、航空機の整備、空港の保安検査や警備などをはじめ、空港に関連する様々な分野において、空港を支える人材が確実に確保されることが重要であると考えています。

そのためには、こうした人材を確保し、受け入れるための環境整備として、公共交通の充実、道路網の整備、教育・子育て環境の充実など、幅広い分野について、広域的な視点で取り組む必要があります。県としては、「基本プラン」の策定にあたっては、このような点も含め、国、市町、空港会社と連携を図りながら、空港を支える人材の確保に努めてまいりたいと考えています。

しまして、確実に対応できるよう求めてまいります。また、空港周辺地域の道路、下水道などの公共施設等の整備にあたっては、国庫補助金の補助率のかさ上げを定めた、いわゆる「成田財法」も引き続き活用するなど、県としても、地域づくりに必要な財源の確保について、しっかりと取り組んでまいります。

小池議員 成田国際空港の更なる機能強化については、いよいよ重要な時期を迎えていると感じている。いろいろな課題があるが、地域が機能強化によってどう変わっていくのかという将来像を描けるよう、県が主体的に、また、早期に着手していただくよう、ぜひお願いしたい。

財源の確保については、いろいろなインフラの整備等に相当な事業費がかかってくるのだからと、思っている。その額は現段階で全く想像がつかないとのことだが、莫大な規模になると考える。これは県の財政では到底補えるものではないため、国に対して今後も「成田財法」の適用を要望していかねばならず、NANAにも強く協力を求める必要がある。地域の振興に資するためには、施策を着実に実行できる体制作りと、その財源の確保が重要であるので県がしっかりと対応することを強く要望する。

#### 小池まさあきプロフィール

##### 経歴

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大 日本大学理工学部卒 同大学院理工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成21年6月 成田市議会議長
- 平成23年4月 県議会議員初当選(現在2期目)

##### 現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会 委員長 議会運営委員会委員



# 北千葉道路印西―成田間

## 既存道路との平面交差5か所

# 車の速度低下を懸念

**小池議員** 北千葉道路は、成田空港の重要なアクセス道路であり、県は今後の千葉県北西部と北総地域の発展にも大きく寄与する道路ネットワークとして位置付けて取り組む必要があることは言うまでもない。

そこでうかがうが、印西・成田間における既存道路との平面交差部が速達性を阻害する要因ともなることが予想されるが、課題認識とその対応についてどう考えるか。

**県土整備部長** 北千葉道路は、外環道と成田空港を最短で結び、首都圏の国際競争力を強化するとともに、災害時における緊急輸送道路として機能する大変重要な道路です。

室インターチェンジまでの西側区間について、一般部と専用部の一体構造で計画が進められており、これとあわせて、県としては、北千葉道路全線の速達性・定時性について検証し、今後

その結果を踏まえ対応を検討してまいります。

**成田市押畑・大山間用地の取得率90%に**

**小池議員** 北千葉道路の

成田市押畑から大山間の進捗状況はどうか。

**県土整備部長** 県が施行する成田市押畑から大山間3・7キロメートルについては、現在、用地取得率が面積ベースで約90パーセント

となっており、また、用地取得と並行して埋蔵文化財調査を実施しています。

工事については、今年度から国道408号とJR成田線を跨ぐ(仮称)土屋橋の下部工

**要望** 小池議員 財政厳しい折ですが、予算措置については積極的に検討していただいて、1日も早く全線開通、特に成田側、成田空港へつなげていただきたい。



議場自席で県政への要望を行う小池正昭県議

北千葉道路の印西・成田間については、橋梁やトンネル、盛土構造により、交差点の立体化及び沿道アクセスの集約を図っており、区間内に平面交差点が5か所あるため、これによる速度低下が予想されます。

# 民生委員 26市町で欠員194人

## 高齢者増加で負担感

**小池議員** 地域福祉の重要な担い手である民生委員の選任が困難となってきた事例が見受けられるが、地域福祉の維持向上を目指す上で、県として現状の課題をどう認識し、対応しているのか。

**健康福祉部長** 民生委員は、住民に一番身近な立場から、要支援者の見守りや相談支援など、地域福祉を推進する重要な役割を担っています。

しかしながら、本年4月1日現在、26市町において合計194人の欠員があり、民生委員の空白地区が生じていることが課題と考えています。

民生委員が確保できない理由は、見守りが必要な高齢者やひとり親家庭などの増加に伴い、業務量や負担

感が上がっていることなどであると聞いています。そのため、県では昨年、業務量の多い地区の定数を見直し、民生委員の負担軽減を図ったところであり、今年度からは、年齢要件の上限を従来よりも3歳引き上げ、候補者の対象を拡大しました。さらに、民生委員の活動

について、県民だよりやテレビ、ラジオなどを通じ、広報したところであり、引き続き、市町村・関係機関と連携して、民生委員の確保に努めてまいります。

**要望** 小池議員 非常に重要な役割を担っている民生委員の担い手がないために、人材の固定化や活動が滞ってしまうような恐れがある。高齢化社会が進展していく中で、民生委員制度がこれからも全国や千葉県で有効に活用できるのか根本の問題があると思うので、国を含めた議論となるが、県としてもぜひ課題意識を持つてほしい。

また、バリアフリー化していない県営住宅については、床の段差解消、浴室・便所への手すり設置などの高齢者対応工事を計画的に実施しているところです。

# 県営住宅7人居る 半数以上が65歳以上

**小池議員** 県営住宅における高齢化世帯の割合と施設面での対応状況はどうか。

**都市整備局長** 県営住宅入居世帯で65歳以上の高齢

者がいる世帯数は、平成28年度末で全世帯1万7236世帯のうち9393世帯であり、その割合は約55%となっております。

居住者の高齢化に対応するための基準を定め、平成22年度以降に新築・建替えを行った県営住宅には、バリアフリー対応に加え、1階に高齢者対応住戸を配置しており

**昭和三十年代建築 国府台県営住宅 今年度建替えへ**

**小池議員** 昭和三十年代に建設された県営住宅は原則建替えとなっているが、進捗状況はどうか、また、新築・建替整備目標戸数は平成23年度から平成32年度までの10年間で約840戸としているが、その進捗状況はどうか。

**要望** 小池議員 県営住宅の建て替え計画が思うように進まず、建て替え需要が一気に高まる中では、民間活力を導入した団地再生なども積極的に検討してもらいたい。

また、平成23年度から平成28年度までに新築・建替えをした住戸数は、整備目標戸数約840戸に対し、212戸であり、進捗率は約25%となっております。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

# 小池まさあき 県事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。 koike@ngy.3web.ne.jp